

会議録(概要)

会議の名称	令和5年度 第2回佐渡市図書館協議会
開催日時	令和5年8月1日(火)午前10時～11時30分
場所	佐渡市立中央図書館 2階 講座室
議題	(1)さわた図書館基本計画(案) (2)その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	佐渡市図書館協議会委員 会 長 渡辺日出子 副会長 関根 良子 委 員 海老名 忠 遠藤 邦子 坂口 可奈子 多田 ゆかり 池田 哲夫 土屋 雅朗 事務局 子ども若者課 課長 余湖 雅美 教育委員会 教育長 香遠 正浩 教育委員会(社会教育課) 課長 市橋 秀紀 館長 村岡 直 係長 伊藤 優美 主任 児玉 泉
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	4名
備考	

会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
香遠教育長	<p>おはようございます。今年度第2回目の図書館協議会の開催にあたりまして、ご挨拶申し上げます。ご多用で、このように暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日の中心議題は、さわた図書館基本構想についてです。今秋防災拠点庁舎の完成に合わせて、佐和田行政サービスセンターの中にある議場が新庁舎に移転します。その移転後のスペースを、子育て中の親子が安心して利用したり、学生が静かに集中して学習できるように整備するものです。その基本構想案について、昨年度、図書館協議会、図書館ボランティア団体、市民の皆様、定例の教育委員会、佐渡市議会に説明をし、ご意見を伺いました。いただいた主なご意見は、耐荷重の面で蔵書冊数が少なくなるのではないかという懸念、2階と3階の機能、コンセプト、職員の配置、開館時間を含めた管理・運営等についてでありました。その後、関係課と協議、再検討を重ね、改善案を作成しましたので、本日も説明をさせていただきます。委員の皆様から忌憚のないご意見をいただければ幸いです。佐和田行政センターの改修工事となるため、耐震や荷重など建設的な制限はありますが、皆様から頂いたご意見を踏まえ、必要であれば修正し、市民説明会など開催する中で、市民の皆様からご理解をいただき、よりよい図書館整備を行っていきたく考えております。よろしくお願いいいたします。</p>
村岡館長	<p>ありがとうございました。会に入る前に、資料の確認をさせていただきます。次第のA4、1枚もの。事前に郵送いたしましたが、A3ホッチキス留めのさわた図書館基本計画は机の上にもありますが、同じものになります。8月図書館イベント一覧ということで、A4、1枚もの。参考資料として、県立図書館よりいただきました会報を配らせていただきました。資料はよろしいでしょうか。</p> <p>以降の議題の進行は、会長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいいたします。</p>
渡辺会長	<p>おはようございます。毎日暑い日が続いています。図書館に来ると涼しくて、夏になると、特に夏休みに入ると多くのお客様が来てくれます。有効に図書館を利用していただければ有難いです。今は、19時まで時間延長しておりますが、一度様子を見に来たいと思いながら、夕方少し涼しくなってから外の仕事をしますので、なかなか状況を見に来られません。</p> <p>新庁舎も大分できてきました。さわた図書館の基本構想の話合いもそろそろかなと思っておりまして矢先に今日の会議となりました。よろしくお願いいいたします。</p> <p>今日は2名の欠席で、本間先生と杉坂先生が欠席と聞いております。8名ですのでよろしくお願いいいたします。</p> <p>それから、本日は傍聴人の方がいらっしゃいます。協議会の傍聴人については、要項に基づき許可をしているところですので、入室について許可してよろしいでしょうか。よろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは議題に入りたいと思っております。さわた図書館基本構想案について、事務局より説明をお願いいたします。</p>

	議題 (1)佐和田図書館基本計画(案)について
伊藤係長	<p>さわた図書館基本計画案について説明を行いたいと思います。さわた図書館ですが、子育てエリアの構想がございまして、その中に位置づくような形で合わせて整備を行っていくこととなっております。まずエリアの説明として、子ども若者課の余湖課長から説明申し上げたいと思います。お願いします。</p>
余湖課長	<p>子ども若者課の余湖と申します。この4月から課長を務めさせていただいております。今後皆様にはご協力やお願いをすることもあるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。</p> <p>私からはさわた図書館の移転と、子育てエリアの全体的な構想をご説明いたします。本日お配りしました基本設計の横長の資料です。こちらは、昨年度の市民説明会終了後に関連団体の皆様等のご意見・ご要望を参考にしまして、施設の中の配置変更などを行った資料です。めくって、資料01『基本設計方針』『計画概要』をご覧ください。教育長からもお話がありましたが、前回お示しました基本方針は佐渡市議会の機能が佐和田サービスセンターから本庁へ移転することに伴い、佐和田地区は保育園から高校まで多くの施設がございまして、子ども・若者・子育て世帯が多く集まる地域です。こちらの地域にさわた図書館の移転に合わせて、親子で図書を楽しんだり、交流したり、相談・情報共有をできるスペースを配置するというので、現在隣にあります学童放課後児童クラブやその遊技場、子育て支援センターなどと合わせて、一体的な子育て支援エリアにしたいという考え方をお示したのになります。施設の整備にあたりまして、今年年齢や障害の有無などに関わらず、すべての市民の方が気軽に利用できる交流スペースなども配置いたしております。図書館と子育てスペースの複合施設という位置づけとしまして、様々な世代の方々が利用でき、また、子どもや親子がゆっくりと過ごせ、学んだり交流をしたりするために、気軽に足を運べる施設としまして、関係団体の皆様や子育て世代の皆様との意見交換を行いながら、細やかな運営面についても検討を進めていく予定としております。中段に図解がありますが、図書館を含めた簡単な構想図となっております。これまで左側の個々の施設、さわた図書館や子育てに関する施設が個々にありましたが、これらの既存の機能を右側のようにエリアとして捉え、既存の機能と複合的に子育て支援の充実を目指していきたいと考えたものです。右側の構成では、2階には児童書を中心とした子ども図書館機能と親子スペース、また、多世代が使える交流スペースを配置する予定です。3階には図書室と学習室という配置になっております。</p> <p>最後に右側にお示した事業スケジュールですが、市民の方の意見をいただいて、合意を得た上で、最終的には令和7年度の開館を予定して現在進めているところです。以上です。</p>
伊藤係長	<p>ありがとうございます。続きまして、さわた図書館につきまして、社会教育課の市橋課長からご説明申し上げます。お願いします。</p>
市橋課長	<p>おはようございます。さわた図書館の2階・3階の部分について説明させていただきます。まず、表紙に『さわた図書館・子育て交流ひろば改修工事基本設計～子ども図書館を活用した子育て拠点～』と書き出しがありますが、これはあくまでも仮称ということで、どうかたちがよいか皆様と話をさせていただければと思います。これについては仮称ということでご理解ください。</p> <p>施設の部分につきましては、昨年度ご説明しました使える場所はほとんど変わっておりません。</p>

2階と3階の部分では、使える場所はほとんど変わっておりませんが、本の配置や壁をもう少し抜けるかという検討をし、配置させていただきました。1月末の説明会の時に課題でもありました本の冊数の件ですが、色分けすればよかったです。縦長の線の入った部屋につきましては、元々旧佐和田町役場の書庫ということで使っているところですが、佐和田のセンターと話し合いをしまして、この書庫については社会教育課で利用するというので、方向性としてはここに書庫を置きたいと思っております。そして、前回の説明ですと、旧図書館のほうを書庫代わりに使って本を残すというご説明をしましたが、ここを書庫として使います。なおかつ、2階については、壁も少し取って、本の冊数も増やしました。2階については、計算上で置ける冊数としては1万4745冊です。右下に小さい字で数字が書いてありますが、概ね児童書は1万冊、子育てに関する一般書は概ね1600冊くらい置けるだろうと考えております。閉架書庫には1万5000冊強の冊数が置けると計算上考えております。先に冊数だけ説明をさせていただきます。3階については、前とあまり変わりませんが、2万3000冊が入り、基本的には佐和田の2階と3階でさわた図書館の本はすべて収納できるということで、少しまだ余裕がある状況になりました。

2階の黄色の交流スペースですが、前回の説明ですと、選挙の時にここは使えないと説明したと思いますが、佐和田のセンターとの話し合いで、選挙の場所は別のところにするということで、黄色の部分は通年交流スペースとして使えます。また、ここに自動販売機も少し置いて、飲食ができるスペースとして考えております。

また、1月の説明会でも意見がありました。真ん中の青いところに事務所が入りますが、その横に『スタッフルーム(ボランティア)』と書いてありますが、ここは図書館ボランティアの方々から自由に使って、土日のイベントや平日の活用と一緒に協力していただきたいということで、ここについては説明の中で意見をいただきたいと思っておりますし、ボランティアルームの隣に、絵本・児童書など年齢別に振り分けたりしておりますが、これについても案であります。このあと図書館ボランティアの方々や、子育て中の方に説明をし、一般の方々にも説明会を開いて意見をいただきたいと考えております。

そして、下のところに緑色の赤ちゃんスペースがございしますが、ここは子育てに使えるスペースとして考えております。親子で休憩したりとか。ここに授乳室がありますが、この形でないほうがよいという意見を早やいただいているので、授乳室の機能を緑色の部分に持たせたいと思っております。絨毯など敷いてあって、お母さんが子どもに読み聞かせをするとか、図書館司書の方が読み聞かせをするような自由に使えるスペースとして考えております。

1階2階3階エレベーターになりますし、音も2階3階に響かない構造で造っていききたいということで、2階については、子どもたちがちょっと声を出してもよいような、硬い図書館ではなく声が出せるようにしたほうがよいのかなと考えております。

左横にトークルームがありますが、相談や打ち合わせができるような場所として考えております。先ほど言った緑の部分ですが、ここについては、できれば3階の議場があったところで小さいイベントやお母さん方の学習会など今後開いていきたいと考えておりますが、その時にここを託児所というイメージで使っていきたいと考えております。

あとは、所々にソファ的なものを置いて、ゆったりとした感じで親子が本を楽しめる場所とし

	<p>て考えていきたい、そして、壁や柱でどうしても取れないものはこのままの形で進めさせていただきたいと思います。</p> <p>3階については、前回と変わっておりません。議場があったところでイベントができるようにしたいと思っておりますし、廊下のところに『スロープ』とありますが、車いすの方もそこから会場に入れて、一緒に参加できる形にしていきたいと考えております。</p> <p>真ん中については総合受付ということで、本の貸し出しをします。あと、左側のオレンジ色については、子どもたちの学習場所、一般の方もよいですし、高校生・中学生が自由に学習できる場所として考えております。</p> <p>エントランスのところに受付があり、エレベーター前のホールのところまで自動ドアみたいなもので出入りしていきたいということで、なるべく2階の音が3階に響かない、3階の音が2階に行かないように設計したいと考えております。</p> <p>今のところ人員としまして、2階の受付、3階の受付につきましては、会計年度任用職員さんになると思いますが2名ずつの体制で、計4名でいきたいと考えております。2階3階の管理については社会教育課で管理をするということで考えています。以上です。</p>
渡辺会長	<p>ありがとうございました。ただ今の事務局の説明について、質問等ございましたらお願いいたします。最初の案からだいぶ改善されまして、収納冊数も増えすべて持って行けるようになったということと、職員も2階3階に配置できるとなっておりますので、図書館の複合施設は全国的にもいろいろな複合施設がありますが、子ども拠点としての複合施設はまだ2つしか県内でもありません。この機会に佐渡がモデルになるようなそういう図書館を作っていきたいと思っておりますので、皆様が納得いく図書館を作っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
市橋課長	<p>今私が説明したものは決定ではございません。職員体制や部屋割り、先ほど言った黒い壁のところは取れませんが、決定ではありません。これから図書館ボランティアの方や保護者の方、一般の方に提案していく内容ということで理解をしていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
土屋委員	<p>説明ありがとうございました。確認です。これまでの話し合いですと、2階は子ども若者課が管轄する子育て支援施設、3階は社会教育課が管轄するさわた図書館という認識だと思ひますが、それを改めて2階3階共に社会教育課が管轄するさわた図書館と捉えてよろしいですか。</p>
市橋課長	<p>その通りです。</p>
関根副会長	<p>冊数の問題は今回解決していただいたと思ひますが、この図面の中の合計だけ見ると、5万3700冊くらいになると思ひますし、さわた図書館の所蔵が4万冊程度ということで、1万冊ちよつとはまだ余裕があるという感じですが、1万冊の余裕は入れ替えなど考えると十分と言えるのか、数字的なものがわからないのでどうなのでしょう。</p>
村岡館長	<p>こちらは決定ではないですが、先般と違って2階の書庫が使えるようになったということで、書庫自体を1万5750冊予定しており、現行のさわた図書館の書庫は押し入れが書庫というような位置づけになるので、その部分を合わせると1万5000冊はかなり置けるスペースになると思ひますし、今回2階が子どもの支援という部分になりますので、図書館としては本の充実も図っていけれ</p>

	<p>ばと思っております。そういった部分についてはまたご意見をいただければ、予算もありますと考えていますし、置けるスペース自体は書庫には余裕ができたと思います。</p>
市橋課長	<p>書庫について、私も説明不足でしたが、今回なぜ急に置けるようになったのか、皆さん疑問だと思いますが、元々佐和田のセンターの書庫が作ってあったので、他の床よりも耐荷重が高く、ここにある程度本を詰め込んでも建物として安全計算もちます、ということが計算の中でわかったので、ここを書庫として、旧図書館を書庫として使おうと思っておりましたが、そちらの本もこちらへ持ってこれたということで、この利用が冊数を増やす一番の要因になっていると思います。実際にどのくらい持つかということに関しては、毎年の本の購入や処分等の冊数が今すぐにわかることではないので、そこについては数字など申し上げられませんがよろしく願いいたします。</p>
関根副会長	<p>とりあえず、佐和田の蔵書が全部入ることに関してはとてもありがたく、図書館を利用している人も、全部入らないなら移転してもね、という意見もあったかと思います。課題の1つである冊数の問題は今日クリアできるのかと思いました。</p>
遠藤委員	<p>当初の案に比べて、動線を考えるとすごく使いやすくなったのではないかと感動しています。3階の図面ですが、『閲覧席(カウンター)』となっています。『○』は、カウンターでも椅子を置いて本を読んだり学習できたりという認識でよろしいですか。</p>
伊藤係長	<p>おっしゃるとおり、こちらに座って読書ができるスペースです。</p>
遠藤委員	<p>そうすると、図書席で28席＋壁際を活用することができると、50名くらいが3階を利用できます。交流スペースも椅子とテーブルがあるので、非常に使い勝手はよくなるのではないかと思います。利用者も子どもも喜ぶのではないかと思います。私も先日真野の図書館に行ってみたら子どもたちが来ていたので、「本を借りに来たの？」と聞いたら「宿題をしてる」と言ったので、お友達と一緒に宿題をして本を読んだり、早速子どもたちは図書館を活用していますので、この施設が稼働したら、子どもたちにとっては何よりの施設になるのではないかと思います。期待しております。</p>
多田委員	<p>今回複合施設になるということで、既存の学童保育や子育て支援センターも一緒に2階3階を使わせていただくという認識でよろしいですか。</p>
余湖課長	<p>一緒に使うというよりも、目的に合わせていろいろな施設を使っただけというイメージです。今学童のところに広い遊技場がありますが、そちらも今後うまく活用しまして、例えばお子さんが思いっきり動きたい時にはそちらを使い、静かに本を読む時には図書館に来て静かに親子で過ごすように、目的に合わせていろんなエリアの中で過ごせることを目指しています。学童の生徒さんも自由に入出入りをして、本を借りることも考えられますので、お子さんがいろいろなところで本に触れる機会が増えると思っています。</p>
多田委員	<p>今既にある学童の施設の場所と、子育て支援センターの場所そのまま継続をして、そこにとどまらずに新しいところも行ったり来たりできるということでよろしいですか。</p>
余湖課長	<p>そうです。</p>
海老名委員	<p>2階3階のエレベーターホール、エレベーターを降りて、改めてドアを開けて図書室に入るようになっていますが、エレベーターを降りてすぐというわけにはいきませんか。</p>
伊藤係長	<p>先ほど市橋課長からも説明がありましたが、音が上下に抜けやすいところがございまして、子ど</p>

	<p>もに気兼ねなく使ってもらいたいと考えています。というのも、3歳児検診などで小さなお子さんを持つお母さん方に「図書館どうぞ」と申し上げますが、子どもがうるさくすると行きにくいと気兼ねがあるようなご意見を時々いただくので、そういったところで気兼ねなく利用できるようにしたい。一方で静かなところを求めている方も図書館の利用者さんの中にはいらっしゃるので、両方の気持ちに対応するには、ある程度自動ドアで遮断するかたちで音の問題をクリアしてはどうかと考え、このような提案をさせていただいた次第です。</p>
海老名委員	<p>要は、階段の空間から上下の音が漏れるのが心配だと懸念されるから、あえてそうしたというお話でしたが、例えば3階の所でいうと、階段から登って、引き戸を開けて、エレベーターホールを通り、自動ドアを開けて中に入る。音を懸念するのであれば、3階の様に、階段を上った踊り場にドアがあるので、音の問題はある程度クリアできるのかなと、だからこういうふうにしてあるのかなと、であれば、2階も同じようにすれば大丈夫ではないでしょうか。そうすると、エレベーターを上がってすぐ図書室には入れて、非常にすっきりするような気がしますが、いかがでしょうか。</p>
市橋課長	<p>ありがとうございます。我々も音の関係で、建築の担当者と話をして、建築のほうからこういう依頼が来ると音が出なくてよいということで、我々はここまでの設計がよいか判断できていないところがあるので、海老名委員からいただいたご意見を我々から建築課と話をして検討したいと思います。</p>
海老名委員	<p>建築基準法か何かでそういう問題があるなら別ですが、特に問題がなければ、そのほうが利用する人も利用しやすいかなと思います。その点がもう一つあって、3階の図面の図書室に行くには、直接行く人、あるいは総合案内所から行く場合は、ドアを開けて中に入って話を聞いて出て行って次のドアを開けて図書室に入らなければいけない。そうするのであれば先ほど言ったように自動ドアの壁を取り払ってしまえば、本の管理も同時にできてよいかと思いました。</p>
池田委員	<p>図書館の電子化もこれから考慮しなければいけない。例えば今まであるAV機器や、電子図書なども普及してくると思います。そして、音を随分気にされていますが、それに伴う光の問題や、配置スペースはここにはないですよね。これは子ども図書館という解釈でよろしいですか。</p>
村岡館長	<p>ありがとうございました。中央図書館ですと、AV コーナーといった形のヘッドフォンを付けてパソコンが置いてある形のものですが、現行そういったコーナーについては予定しておりませんが、そういったところも当然考慮しなければいけないと思いますし、こちらについては案の段階ですので、レイアウト等どうなるかですが、検討していきたいと思います。</p>
池田委員	<p>子どものほうがこうした機器への対応がすばやいので、将来を見通して使いやすいものを考えていただいたらよいと思います。</p>
関根副会長	<p>3階の多目的ホールのところですが、通常時は休憩・閲覧室として活用とありますが、閲覧室として活用ということは、書棚から本を持って行ってそこで読んでよいということだと思います。常時ここはフリースペース状態でオープンにしておくということですか。</p>
村岡館長	<p>こちらはイベント等も予定しておりますので、そういった時はイベントが主になりますし、そうでなければオープンスペースといった形で予定しております。石川県立図書館でだんだん広場というところがこのような形状になっていますが、そこも普段は本が読めるようになっておりますので、普</p>

	段使いとイベント使いと両方の利用を考えています。
関根副会長	なぜ聞いたかという、常時広いスペースがある3階のホールは、子どもたちにしてみれば走り回るには絶好の広さがあり、静かに本を読みたい方もいらっしゃるし、そのへんがどうかたちになるのか。
村岡館長	たしかに子どもが走り回れるスペースがあるようにも見えますが、半円のところはステージになりますし、+150、+300、+450、+600は段々になっておりますし、走り回るというより傾斜があるところなので、本を読んでくつろいでいただくイメージでおります。ここは元々議場なので防音はありますが、走り回るスペースとしては考えていないです。
関根副会長	誰でも自由に使えるフリースペースということはありがたいと思いますし、マナーの周知もしていただきたいと思います。
渡辺会長	2階のボランティアルームを作っていただいたのは、非常にありがたいと思います。特にさわた図書館は佐和田の図書館応援団や様々な方が大勢いますし、いろいろなイベントも皆さん一生懸命協力してくれています。そのイベントが、議場で子ども向けでも大人向けでも講演会でも、早めに予約を入れておけばいつでも使える状況になっていますので、図書館の全体的なイメージとして非常に理想的だと思います。2階に児童室、少々騒がしくてもよい。中央図書館に来た方はわかると思いますが、児童室は閲覧室ホールの一部にあり、子どもの声がホールの隅々まで響きます。子どもたちが遠慮なく本を読んだり、お母さんに読んでもらったりができるような環境が整うのはいいですね。今までは子どもたちの声がうるさいと怒られたりしていました。さわた図書館の2階は子どもスペースということであれば、少々大きな声が出ても、赤ちゃんの部屋もありますし、泣き声があってもそれほど怒る大人もいないと思います。私は2階と3階に分けたことは非常によいと思いました。3階にも学習室があり、窓側に向けたカウンターもあり、数も増えておりますし、ブラウジングコーナーも3階にもあるので、佐和田はなかなかゆつくり休むところがなかったのが、このように分けたのは非常によいと思います。社会教育課が2階3階を管理するということですが、子ども若者課の方たちからも何か応援をしてもらい、イベントを赤ちゃんスペースで何かするのも可能ですし、先ほども言いましたが、モデル図書館になるように、少しずつ皆さんの意見を入れて改善していけたら、最高の図書館になると思います。これからボランティアの方々に説明をして、市民にも説明会がありますので、皆さん、思っていることを意見として言えると思いますので、非常によいと思います。また、選挙をやる自由なスペースも、通年使えると聞いておりますし、飲食が可能なのも非常によいと思いますが、こういうスペースが欲しいとか意見があれば。ただ、一つ思うのが、個人学習はこの閲覧室でよいと思いますが、友達同士言い合いしながら勉強できるスペースもあるとよいですね。佐渡はそういうスペースがないです。高校もありますし、小学校も近いですし、中学校は少し遠いですが、土・日にグループで勉強することもあるかもしれないので、そういうスペースがあるとよいと思います。
伊藤係長	ご意見ありがとうございます。グループ学習ができる専用の部屋というのは、特段こちらで設けてはおりませんが、例えば小学生で親御さんと一緒に宿題をしたいというようなことであれば、2階子ども図書室1の左側のところで学習することが可能だと思いますし、交流スペースでディスカ

	ッションしながら学習することも可能ではないかと考えています。
村岡館長	多目的ホールもご利用いただければ、机はございませんが、議論しながらできるかと思えますし、また、会長がおっしゃったような形でのグループ学習は、この間新潟大学の方がいらっちゃって東洋大学の教授の方とも話していましたが、図書館自体がそういったコーナーを用意してグループ学習をするような部分も設定しているというのが図書館の考え方の流れだと認識しておりますので、なかなか新しい部屋を作るのは難しいところがございますので、既存の部屋をうまく利用しながら、会長のご指摘のようなものを作っていただければと思います。
土屋委員	2点気になったことがあります。1つ目は各スペースの呼称です。子ども図書室というネーミングに違和感があり、狭いのかな、図書館ではないのかな、と感じました。子ども図書室にしては広いではないかという印象もあったり、〇〇ルームや〇〇スペースとか揺れがあるのかなど。そのへん名前を付けた意図があるならお聞きしたいし、図書室でないほうがよいのではないかというのが私の意見です。
市橋課長	現在設計上付けている呼び名だけなので、2階全体に通称を付けたほうがよいのではないかと いう意見もあります。
土屋委員	今後変動するということですね。
市橋課長	今後検討する予定です。
土屋委員	わかりました。 もう1つ、先ほどの話と関連しますが、私は図書館の開館時間を研究しているものです。例えば学習室だけ開館時間を延長するとか、ソフト面のお考えはありますか。高校生というお話もさせていただいておりましたが、学習室だけは遅くまでやるという話も、これまでの協議会の話でありましたが、そのあたりをお聞かせいただきたいと思います。
市橋課長	今全体のイメージを作っているのので、今のところ、この部屋だけという検討はしておりませんので、ご意見としてこれからの方向性としてお聞かせいただければと思います。今のところそういった検討はしておりません。
土屋委員	例えば今後検討する上で、3階の学習室だけ開きたいといった時にレイアウトにも関連してくる と思い、発言させていただきました。レイアウトが固まってからですと、ここだけ開くことはできない ということに繋がってきますので、そのへんを踏まえて検討いただけたらと思います。
渡辺会長	土屋委員のおっしゃるネーミングについては、課長のおっしゃる通りで、大きくさわた図書館、 そして、2階は子ども図書室・館でいうのかわかりませんが、ネーミングはいくらでも変えられるの で、どこの図書館に行っても大体1階は子どもスペースとか子ども図書館とか付いています。なの で、それはこれから皆さんの知恵を出し合ってネーミングを付けていくとよいと思います。
土屋委員	県立図書館にも子ども図書室があるのは存じております。
渡辺会長	板橋区の図書館も素晴らしい中央図書館ができていますが、1階が児童室だけになっていま す。入り口から門みたいなものを作って、子どもがわくわくするような形になっていますが、そこま ではしなくてよいですが、いろいろな図書館がありますので、細かいことでも皆さんの意見を出し 合うとよいものができていくと思います。先ほど海老名委員が、エレベーターを出てすぐ図書室に

	<p>入ってもよいのではないかとおっしゃいましたが、両津図書館のエレベーターホールが結構広く、ガラスの扉になっています。閉塞感がなく、図書館の中も見えますし、ドアはあってもよいかと私は思います。</p> <p>これからまだ検討の余地はあるようなので、疑問は一つずつ潰していただいて、納得のいく図書館を作りましょう。</p>
坂口委員	<p>前回のプランよりも使いやすくなっていると思いましたが、私の中では静かに本が読めることが一番大切なところで、それも自分の使い方によっては自分でできるような気がしたので、こういうふうにしてこれから作り上げていけば使いやすい図書館になると思ったので、私はこのプランはよいと思いました。あとは先ほどおっしゃったように、入り口の暗い雰囲気を明るくして、誰もが入りやすいような図書館にしてほしいです。</p>
海老名委員	<p>図書館の手洗い場はこんなものですか。この図面は構造上の問題もあって、例えば2階にしてもトイレの場所がないですか。</p>
市橋課長	<p>既存のリフォームの中で設計を考える中で・・・</p>
渡辺会長	<p>トイレが広がるわけではない？トイレの場所はそのままでしょうか？</p>
坂口委員	<p>トイレも新しくなるのでしょうか。</p>
市橋課長	<p>佐和田は以改修して結構きれいになっています。合併してトイレを改修したので、そのままです。</p>
伊藤係長	<p>2階のトイレは少し広くなります。</p>
渡辺会長	<p>おむつ変えスペースもできるのですね。</p>
伊藤係長	<p>はい。</p>
土屋委員	<p>あくまでも設計案についての意見なののでしょうか。そのあとまた内容についてこういう会があるわけですね。</p>
村岡館長	<p>この部分については重要案件だと考えておりますので、このあとボランティア団体・市民の方の意見もありますので、そういった部分も踏まえて会を設けてお知らせ等したいと思います。</p>
土屋委員	<p>Wi-Fiの整備については今言ってよい話でしょうか。</p>
伊藤係長	<p>今のところWi-Fiを整備したいと考えています。</p>
渡辺会長	<p>この件については、これでよろしいでしょうか。さわた図書館基本計画は一旦これで終わりにしまして、議題その他をお願いいたします。</p>
村岡館長	<p>事務局から8月の行事予定についてご説明いたします。</p>
児玉主任	<p>前回研修のために参加できませんでしたが、4月から中央図書館に配属されました、児玉泉と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>ご要望があったと聞き、これまで委員のみなさまにはイベント一覧等をメールで送らせていただいておりますが、今回はそれを「その他」の資料として加えさせていただきます。</p> <p>毎回開催しているお話会に加え、夏休み期間中ということで、特別な行事等ございます。一番上の、夏休みこどもエコ手芸体験というのは、真野図書館で開催するものです。8月3日と17日の13時～15時の間、着られなくなった服を図書館バック等に作り替え、リユースするということ</p>

	<p>で、昨年好評だったということで引き続きの実施となります。申し込み不要ですので、興味のある方はご参加いただければと思います。</p> <p>両津図書館で行う、海の思い出をキャンパスにという行事がございます。こちらは絵本の読み聞かせと合わせて、親子で工作の体験をする内容です。3歳以上の児童と保護者の方が対象ということですが、土曜日に両津図書館に確認したところ、まだ先着5名に達していないということですので、興味のある方いらっしゃいましたらご参加いただければと思います。</p> <p>毎月お話しなどのイベントを行っておりますので、ご都合付きましたら皆様ぜひ様子を見ていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
村岡館長	<p>メールで皆様にお伝えしましたが、8月5日(土)両津図書館に県立図書館の職員がいらっしゃって電子書籍の体験コーナーを行いますので、委員の皆様もお時間がございましたら、両津図書館までお越しいただければ電子書籍の体験ができますので、よろしくお願いいたします。朝10時から1日あります。</p>
渡辺会長	<p>自由な時間に行ってよいということですね。</p>
村岡館長	<p>お昼時間は県立図書館の職員は抜けますが、佐渡市の図書館の職員がおりますので、代わってご説明させていただきます。予約は不要です。</p>
渡辺会長	<p>わかりました。全体を通して何かございますか。</p>
土屋委員	<p>資料の枚数が足りず申し訳ございませんが、開館時間について、前回ちょこちょこっと調べて話させていただきましたが、昨日時間をかけて県内の30市町村の図書館を全部調べました。津南町に関しては十日町情報館に近いのかなと。ここからは私の推察ですが、関川村の公民館図書館については、村上市図書館の分館扱いなのかなという感じでした。そう考えた時に、やはり佐渡市の図書館の閉館時刻が早い印象を持っています。これまで佐渡市は体育施設10市町村に大きな立派な体育館を造って、それなりの体育拡充が図られてきたと思っています。全国大会レベルの成果も出てきています。ニーズを把握して図書館を延長する視点ではなく、ぜひ佐渡市として文化施設・教養施設の拡充を図って、さわた図書館にも関連しますが、ソフト面をぜひ充実させて、戦略的に佐渡市民を育てていただきたい思いです。そのあたりを香遠教育長さんどのようにお考えでしょうか。</p>
香遠教育長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。現在金井の中央図書館で1時間閉館時刻を遅らせて、お試しで1月経ちますが、もう1か月夏休み期間中を含めて、子どもたちをはじめ、市民の方々のニーズをアンケートで集約します。今土屋委員からは、ニーズに関係なくというお話でしたが、ニーズというか、現状というか、おかれている図書館の立地条件もありますので、総合的に判断をしていきたいと考えています。まずは8月後半まで開館を延長して、その実態を踏まえ検討をしていきたいと考えています。</p>
土屋委員	<p>ありがとうございました。関連して、さわた図書館の開館時間の検討は今のところありませんでしたが、佐渡高校が近隣にあるという点からも、中央図書館以上に遅い時間まで開いてもらえると、高校生も勉強できるかという印象は持っています。ぜひご検討いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。</p>

渡辺会長	ありがとうございました。他にございませんか。
遠藤委員	全く関係のない話になりますが、今回子ども図書館が充実するというので、本もたくさん置くので、子どもたちも本選びがとてもしやすくなると思いますが、学校の司書の先生とお話する機会がありまして、なかなか図書館を使い慣れていないと、情報を探し当てることができない子が増えてきている気がすると言いました。見つからないと諦めて、今はタブレットも持っているのですが、子どもたちが情報をとるのにそちらに流れてしまう。図鑑や本で調べるより、ネットで検索して、それを精査せず、一番上に出たものを結果として使ってしまう傾向が見られるというのを大人たちは少し心配しているのですが、図書館でイベントを開いてくださっているのでも、そういうところで足を運んでもらう。そうすると子供たちは本を借りようと思って行っていなくても、あるといろいろ見て、次々に探し出して開いています。子どもたちが図書館へ行くようなイベントを続けていただくことと、子どもたちをそこへ行かせることがすごく大事。あと、情報収集の能力を少し身につけさせるにはどうしたらよいのかと思いますが、図書館も学校も手を携えてうまく協力していかないと、子どもたちが安直に結果をこれでいいやとなってしまうがちなので心配です。そういう傾向が見られるので、いい方法でイベントを続けていただきたいですし、私たちも保護者として図書館の利用を薦めたいと思います。
伊藤係長	貴重なご意見ありがとうございました。子どもたちに図書館へ足を運んでもらえるような活動について、私たちも検討していきたいと思ひますし、子どもたちの情報の使い方・得方について、イベントの中で何かできないかとか、あるいは学校への働きかけの中で何かできないかとか、図書館司書の職員の方々とも相談してできることを考えていきたいと思ひます。
渡辺会長	ありがとうございました。図書館でも、皆さんが来てくださるようなイベントを考えてくださると思ひますので、親子そろって図書館を利用する環境づくりをしていけるとよいと思ひますので、皆さん、図書館を大いに利用していただきたいと思ひます。3.その他はいかがでしょうか。
村岡館長	事務局は特にございません。
渡辺会長	これで議題は終わりにしたいと思ひます。
村岡館長	閉会にあたりまして、関根副会長から一言お願いいたします。
関根副会長	今日は暑い中お集まりいただきありがとうございました。この基本計画も、皆様からいろいろ多くのご意見・案をいただき、今日図面を見せていただいて、すごく改善されて、楽しくワクワクするような案を出していただけたと思ひしております。今後とも皆さんの意見が大きく佐渡の図書館を育てていくと思ひますので、今後ともご協力よろしくお願ひいたします。今日はありがとうございました。
村岡館長	これを持ちまして本会議は終了いたします。ありがとうございました。